

(5) 伊予ブロック（伊予市、松前町、砥部町）

～産地づくり～

県都松山市に隣接し、市場だけでなく産直市や、観光農業、通信販売等、多様な販売チャンネルの活用が見込めるため、消費者ニーズを捉えた多様な野菜・花き類や地域ブランド商品の生産振興による産地づくりを目指します。水田農業では、新品種の導入や品質向上を図る一方で、コスト削減や省力化に努め、集落ぐるみで産地育成を推進します。また、果樹では、環境に配慮した栽培管理や鳥獣被害防止にも取り組みながら、地域経済を支える基幹産業として足腰の強い競争力のある産地の確立を目指します。

～推進品目や産地づくりの方向～

○収益性の高い水田経営の推進

1 水稲・はだか麦の優良種子の安定生産

【取組】

- ① 優良種子を生産するための技術向上研修会（水稲：3回）や穂肥講習会（水稲：7回）を開催 
- ② 採種ほ場の出穂期・成熟期の審査を3回実施

【成果】

- ①② 令和6年産の県内種子を確保

【水稲】

	R6用	(R5)	(R4)
品 種	6	5	6
生産量(t)	153	161	188

【はだか麦】

	R6用	(R5)	(R4)
品 種	1	1	1
生産量(t)	65	71	72

2 水稲新品種「ひめの凜」の普及拡大

【取組】

- ① 産地化に向け、現地実証（1か所：松前町）や栽培講習会（3回）を開催 
- ② 認定栽培者制度により、食味向上の取組みを徹底

【成果】

- ① 栽培戸数：75戸〔R4：77戸〕、作付面積：62ha〔R4：57ha〕

- ② 面積拡大及びプレミアムクオリティの割合向上

	R5	(R4)	(R3)
栽培面積 (ha)	62	57	34
プレミアムクオリティ比率(%)	40	26	77

3 はだか麦「ハルヒメボシ」の高品質安定生産

【取組】

- ・品種特性に対応した栽培技術の普及や後期重点施肥技術の導入 

【成果】

- ・平均収量の向上

	R5	(R4)	(R3)
栽培面積 (ha)	273	341	345
平均収量 (kg/10a)	337	324	345

4 小麦「シロガネコムギ」の導入

【取組】

- ・需給バランスの改善のため栽培講習会や実証ほを設置し、小麦栽培の導入を推進

【成果】

- ・裸麦から小麦への作付け転換が進み、小麦栽培面積の拡大 

	R5	(R4)
栽培面積 (ha)	50	36
平均収量 (kg/10a)	370	418



図1 技術向上研修会



図2 「ひめの凜」穂肥講習会



図3 「ひめの凜」の収穫



図4 はだか麦の生育調査



図5 小麦の収穫

○果樹の高品質安定生産によるブランド力の向上

1 「甘平」の裂果軽減による安定生産の確保

【取組】

- ① 連年安定生産を目指し、pF計による灌水管理等の実証ほを3か所設置 [図6]
- ② 魅力ある中晩柑産地づくり会議の開催（5、3月）

【成果】

- ① 灌水管理実証ほ収量（10aあたり）：2.0t（対照区：2.2t）
- ② 効果の高かった試験について、継続調査を決定

2 かんきつ新品種 愛媛果試第48号「紅プリンセス」の導入

【取組】

- ① 越年品種であるため、温暖な無霜園地での導入を推進
- ② 品種特性を把握するため、調査ほで果実品質調査を実施 [図7]

【成果】

- ① 栽培面積：9.3ha [R4：3.5ha]
- ② 施設モデル園の紅プリンセス合格率：83.6%（露地：48.6%）

3 キウイフルーツの産地強化

【取組】

- ① 生産性向上のため、老木園の改植推進とモデル園の設置 [図8]
- ② 苗木導入者を個別巡回、早期成園化を目指した栽培管理を指導

【成果】

- ①② 改植・新植面積64a、250本の苗木を植栽
- ② 苗木平均伸長量：230cm/年以上を確保（目標：200cm）



図6 生産者への灌水指導



図7 関係機関と連携した調査



図8 キウイフルーツのモデル園



図9 農家による天敵（ダニ）の放飼



図10 暖かぐやのセル苗定植



図11 さくらひめの鉢物

○地域特産野菜・花き振興による農家所得の安定

1 環境にやさしい施設野菜の推進

【取組】

- ① 土着天敵（タバコカスミカメ）の導入
- ② 土着天敵定着のための温存植物の導入促進

【成果】

- ① 土着天敵導入農家数：8戸 [R4：6戸、R3：6戸] [図9]
- ② 温存植物導入農家数：8戸 [R4：6戸、R3：6戸]

2 地域特産野菜の振興

【取組】

- ① 水田における高収益野菜として、さといも普及拡大のため、育苗講習会や病害虫防除指導を実施
- ② 夏秋トマトの生育状況に応じた栽培管理の徹底指導（対象：9戸、6回）
- ③ 天敵導入による、自然薯栽培の害虫対策講習会を開催（7月）

【成果】

- ①
 - ・優良種苗増殖のためセル苗育苗を導入：5戸 [R4：4戸、R3：0戸]
 - ・「暖かぐや」の新規導入：3戸で4a [図10]
 - ・暖かぐや栽培農家数：7戸 [R4：4戸、R3：4戸]
 - ・さといも疫病発生数：0戸 [R4：0戸、R3：1戸]
- ② 病害虫の発生による生産量の減収なし
- ③ 自然薯土着天敵利用による省力化効果等を周知

3 鉢物生産技術の向上

【取組】

- ① さくらひめ鉢物栽培技術の向上を図るため、個別巡回指導や夏季自家育苗の実証ほを設置 [図11]
- ② 伊予花き研究定例会（8回）で、市場等との情報交換を実施（9月）

【成果】

- ①
 - ・夏季自家育苗（短日夜冷育苗）の有効性を確認
 - ・生産量：10,200鉢 [R4：10,400鉢、R3：9,900鉢]
 - ・生産者数：6戸 [R4：6戸、R3：6戸]
- ② 新規会員（1人）の作付け計画の策定等により安定出荷技術を習得

○地域を代表するブランド製品の産地維持・振興

1 「中山栗」の産地力向上

【取組】

- ・生産力強化を図るため、せんだい講習会（4地区）の開催や高収益モデル園の設置（9か所）、せんだい班活動による低樹高化を推進[図12]

【成果】

- ・平均単収：290kg/10aに向上〔R4：261kg/10a〕
- ・せんだい班による低樹高化を実施した面積：37ha〔R4：33ha、R3：35ha〕

2 「七折小梅」の安定生産

【取組】

- ① 母樹園の設置等により、優良系統樹の改植を推進 [図13]
- ② 栽培者の高齢化に対応した省力化栽培の普及

【成果】

- ① 優良系統改植面積：1ha〔R4：1ha、R3：1ha〕
- ② 電動工具導入農家：2戸

3 鳥獣被害防止対策の実践

【取組】

- ① 中山地区で、研修会等を通じて集落ぐるみの対策を支援
- ② 地域内での鳥獣被害の実情を共有し、適切な対策・計画の組み立てを支援

【成果】

- ① 鳥獣管理専門員等による見回り活動を実施し、被害を軽減 [図14]
- ② 〔・箱わなの設置、センサーカメラによる加害獣種の特定制
〔・被害防止対策協議会(8月)を通じ、課題の検討や情報を共有



図12 栗の低樹高講習会



図13 七折小梅の優良系統母樹園



図14 集落の見回り点検活動

～地域づくり～

農業・農村を支える多様な担い手を確保・育成するため、関係機関が連携・協力し、研修制度や受入体制の充実・強化を図り、新規就農者や参入企業の掘り起こしと定着支援に取り組みます。また、集落営農組織の育成や法人化を進め、優良園地など地域農業基盤の維持・管理と地域コミュニティの活性化を図ります。

活力と愛顔あふれる農村社会を実現するため、女性の感性や能力を活かした起業活動や農業経営への参画を推進し、次代の地域農業を担う女性農業者を育成します。

～推進対象や地域づくりの方向～

○次代を担う新規就農者の確保・育成と多様な人材の参画支援

1 新規就農者の確保

【取組】

- ・サラリーマン等を対象とした休日就農相談会（1回）や、個別の就農相談等を通じて、新規就農者の確保を推進 [図15]

【成果】

- ・新規就農者：10人〔R4：7人、R3：5人〕
- ・新規就農者のうち、認定新規就農者又は認定農業者：10人〔R4：4人、R3：5人〕

2 新規就農者の定着率向上

【取組】

- ① 新規就農者育成総合対策等受給者に対し、現地確認や就農状況確認、経営相談を実施：26人
- ② 新規就農者勉強会の開催（8月）：6人参加のうち1人を継続的に支援
- ③ 補助事業及び資金借入による早期経営安定支援：12人
- ④ 〔・青年農業者組織活動支援（農業機械講習、農地基礎知識、労働力確保、先進事例調査）及びプロジェクト課題（1課題）の設定
〔・ひめかし生との農作業体験や、愛大留学生と柑橘に関する意見交換を実施[図16]

【成果】

- ・就農3年目の定着率：100%〔R4：100%、R3：67%〕



図15 サラリーマン等
就農相談会



図16 青年組織先進事例調査

3 多様な人材の参画支援

【取組】

- ① 農福連携の取組を啓発するとともに、マッチングを支援するほか、農業者と福祉施設の意見交換会を開催（2月、8施設参加）[図17]
- ② さといも新規栽培者に対し、農福連携について説明（12月、6人参加）

【成果】

- ① 課題や対策について情報共有
- ② 4経営体で農福連携による雇用が定着、今後、継続・拡大する予定

○優良農地を保全する集落営農組織・農業生産法人の育成

1 集落営農組織や農業生産法人の育成

【取組】

- ・中小企業診断士等を活用した経営相談の推進による経営改善支援

【成果】

- ・集落営農組織（1組織）、農業生産法人（2組織）の経営目標を再設定

2 集落営農の組織間連携による優良農地の保全

【取組】

- ① 肥料高騰対策やスマート農業に関する研修会（1月）の開催[図18]
- ② 組織間連携による、効率的な機械運用の推進

【成果】

- ・組織間連携意識の向上

3 高収益作物の導入による経営安定

【取組】

- ① 県育成品種さといも「愛媛農試V2号（伊予美人）」の導入を推進[図19]
- ② 省力化・効率化の研修会を開催（1月）し、ドローン等導入啓発[図20]

【成果】

- ① 栽培面積：5ha [R4年対比：250%] ※干ばつのため生育はやや不良
- ② ドローン導入意欲の向上

～推進対象や地域づくりの方向～

○女性農業者の仲間づくりと女性が輝く社会の実現

1 地域に根差した食文化の保存・伝承

【取組】

- ① 生活研究協議会による地域の食文化普及講座を3回開催 [図21]
- ② 地域の加工品や伝統食・保存食の紹介および継承活動を実施、インターネットを利用した情報発信を支援

【成果】

- ① 学童及び保護者を対象に、食文化を普及・伝承
- ② 伊予地区に伝わる伝統的な食文化や調理方法などを撮影、YouTubeに掲載し、広くPR

2 女性農業者組織の活動支援

【取組】

- ①
 - ・女性認定農業者組織「あいネットワーク」の活動支援
 - ・簿記研修の開催（3地区各1回）
 - ・会員のほ場巡回研修（8月）
 - ・女性農業者組織活動に係る先進事例の視察研修を実施（10月）
- ②
 - ・一次産業女子グループ「葉(は)れるや」の活動支援
 - ・新規有望品種「媛かぐや」の試験栽培・検証
 - ・一次産業女子の優良事例視察研修（岡山県）を実施（1月）[図22]
- ③ 事業を活用した販促用のユニフォーム（Tシャツ）を作成し、イベント出展やグループ活動のPRに活用（葉れるや）[図23]

【成果】

- ① 「あいネットワーク」会員の経営力の向上
- ② 一次産業女子グループ「葉れるや」のネットワーク強化
- ③ 「葉れるや」の活動意欲や認知度の向上



図17 福祉施設との意見交換



図18 集落営農組織の研修会



図19 ハイクリ(High-Clearance) 農機による土入れ



図20 ドローン防除実演会



図21 食文化普及講座（松前町）



図22 岡山県の農業女子 視察研修（葉れるや）

○地域資源を活用した消費者との交流活動の推進

【取組】

- ① 各地区間のGT活動の情報収集と会員の交流支援、促進
- ② 女性起業家の消費者交流イベントへの参加促進

【成果】

- ① えひめグリーン・ツーリズムプロモーション事業を活用し、各市町でピザ焼き体験等、体験メニュー等を掲載（計5件）により、都市住民との交流が促進
- ② とべ楽市、松前町産業まつり「たわわ祭」など消費者交流イベントへ参加し（計5回）、消費者との交流が促進 [図24]



図23 ユニフォームを着用し、活動をCATVでPR（業れるや）

～農業用水の安定供給と樹園地再編による優良品種産地拡大～

○水田地帯の農業用水の安定確保

【取組】

- ① 基幹的水利施設の計画的な更新：1地区（砥部町 砥部地区）
- ② 農業用ため池の老朽化対策、地震対策実施：4地区（伊予市吾川地区、土段地区、宮下新池地区、三秋大池地区）

【成果】

- ① 農業用ダムの取水ゲート交換完了：1か所（砥部町 銚子ダム）
- ② 農業用ため池の老朽化対策完了：1か所（伊予市 土段池） [図25]



図24 イベント参加（たわわ祭：11/11）

○樹園地の再編整備

【取組】

- ・農地中間管理機構関連農地整備事業を活用した樹園地の再編整備：1地区（砥部町 砥部地区）

【成果】

- ・再編整備工事着手：1地区（砥部町 砥部地区） [図26]



図25 老朽化対策が完了した土段池

～安全・安心な畜産物生産体制の強化に向けて～

○高病原性鳥インフルエンザなど家畜伝染病の農場への侵入防止

【取組】

- ① 飼養衛生管理基準の遵守徹底を図るため、関係機関と連携して9月に防疫演習を開催するとともに、建設業協会等と連携した埋却候補地の現地調査を実施
- ② 農場HACCP認証維持のため、HACCPチーム員として指導助言を実施

【成果】

- ①
 - ・防疫演習により、関係者の意識向上させるとともに、手順の確認を行い、初動防疫体制が強化
 - ・埋却調査により、飼養衛生管理基準遵守の実効性を確保 [図27]
- ② HACCP認証の維持（2農場）及び農場指導員資格者を養成し、指導体制が強化



図26 樹園地再編整備の施工状況（砥部地区）

○地域環境に配慮した経営体の育成

【取組】

- ・堆肥の利用状況等に関する聞き取り調査を行い、必要に応じて衛生対策や環境面に対する指導や支援を実施：6戸、計10農場 [図28]

【成果】

- ・畜産環境（堆肥処理、排水、臭気）及び家畜衛生に対する生産者の意識が向上



図27 養鶏場の埋却地調査



図28 堆肥利用調査